



# CS通信



秋田県立ゆり支援学校 コミュニティ・スクール通信  
第2号 令和6年10月4日発行

## 熟議で話っこ ～聞くべ～



9月20日に第2回学校運営協議会が行われ、学校運営協議会委員のほか、福祉施設や行政・企業の方、保護者、教職員、そして初めて地域のボランティアの方、卒業生が参加し、グループで語り合う熟議を行いました。生涯学習課社会教育主事の三浦智己氏の講話「障がい者の生涯学習」を聞いた後に、自己紹介をし、立場の違う人の意見をじっくり聞いたり、伝え合ったりして、最後はミックスジュースのように様々な意見が調和していきました。本校の児童生徒、卒業生のよりよい未来につながるよう、次の一歩へとつなげたいと思います。御参加いただいた皆様、ありがとうございました。



### 熟議のテーマ

**「ゆり支援の子どもたちの充実した生涯学習のために、私たちができること」**

(※太文字は意見の多かった内容です)

#### ラウンド1 楽しい学びの場 は？



ワーク  
ショップ

絵、趣味  
レクリエーション

#### スポーツ

球技、ボッチャ  
など  
ウォーキング

音楽  
カラオケ

野外活動  
キャンプ  
料理

地域行事  
祭り

情報<sup>が</sup>どこ  
にあるか分  
からない

支援する人<sup>や</sup>  
団体、コーディ  
ネーター役がい  
るといい

活動場所  
があるといい

交通手段<sup>が</sup>  
あるといい

サークルや  
チームが作  
れたらいい

相談窓口

#### ラウンド2 学びの場実現のため に必要なこと、課題

お金、予算<sup>が</sup>  
あるといい

地域とのコミュ  
ニケーション

周囲の理解<sup>が</sup>  
あるといい

### ラウンド3 私たちに何ができるかな？

#### 活動場所を作る

学校を開放、ナイスアリーナ、カダーレ、シーガル等



移動手段のサービス  
移動のボランティア  
公共交通機関の活用

#### 情報発信

SNS等  
専門家の活用

広報誌の活用

#### ニーズをつないでくれる人

地域、事業所との連携

卒業生でサークルづくり

公民館の活用とサポート

#### ボランティア・ボランティア団体活用

(学生、OB、退職者等)

同窓会の活用

## 未来へのキーワード

1 集まれる居場所づくり

2 人材の結集  
つなぎ役、連携

3 情報の共有



#### 講評

最後に高野睦 CS マイスターと三浦智己社会教育主事より以下の講評をいただきました。

- ・情報を共有できたことに意義がある。3年後を見据えて地域社会をつくっていくことが重要。
- ・青年学級を公民館で行う事例がある。場所、人、移動手段など、支援から自分でできるよう、今あるものを活用して進めていけるといい。一歩踏み出してほしい。

#### 参加者の感想

卒業生が実際に社会でどう考えているか知ることができ、貴重な機会でした。

高等部保護者

生涯学習は趣味のようなことだと知りました。行政や福祉関係、企業など様々な方が子どもの未来のために意見を出されていて素晴らしいと思いました。「つながる」という言葉が心に残りました。

小学部保護者

問題意識を共有しながら、今後も議論を重ねるようにしてもらいたい。進捗状況も共有していきたい。

小学部保護者

たくさんの御意見をいただき、ありがとうございました。今後、学校が地域の皆様と成長していけるよう、御意見を学校運営に反映させていきたいと考えています。